

令和7年11月27日（木）
岐阜労働局
中部地方整備局
新丸山ダム工事事務所 同時発表

担当	労働基準部健康安全課		
	健康安全課長	米山	宏治
	地方産業安全専門官	早川	政志
	電話 058-245-8103		

新丸山ダム工事現場の年末 安全パトロールを実施します

— 岐阜労働局及び中部地方整備局が合同で実施します —

岐阜労働局(局長 原田 浩一)は、令和7年度年末年始無災害運動(12月1日～翌年1月15日)を踏まえ、岐阜労働局長及び中部地方整備局新丸山ダム工事事務所長による年末安全パトロールを実施し、労働災害防止を呼びかけます。(岐阜労働局管内の労働災害発生状況は別添の1を参照ください。)

1 実施日時

令和7年12月10日（水） 13時30分から16時30分まで

2 パトロール先事業場

- (1) 工事名 新丸山ダム本体建設工事
(2) 施工業者 大林・大本・市川特定建設工事共同企業体
株式会社大林組・株式会社大本組・株式会社市川工務店
(3) 所在地 加茂郡八百津町八百津 3340-1
(4) 発注者 国土交通省 中部地方整備局 新丸山ダム工事事務所

3 スケジュール

- ① 局長挨拶 (13:30～13:35)
発注者挨拶 (13:35～13:40)
工事概要等説明 (13:40～14:00)
② パトロール実施・講評Ⅰ (14:00～14:40)
③ パトロール実施・講評Ⅱ (14:50～16:30)

4 取材申込先

事前登録が必要ですので、パトロールの取材を希望される方は、12月4日（木）正午までに岐阜労働局労働基準部健康安全課（電話番号 058-245-8103）あてにご連絡ください。(別添の2「取材時のお願い」に留意してください。)

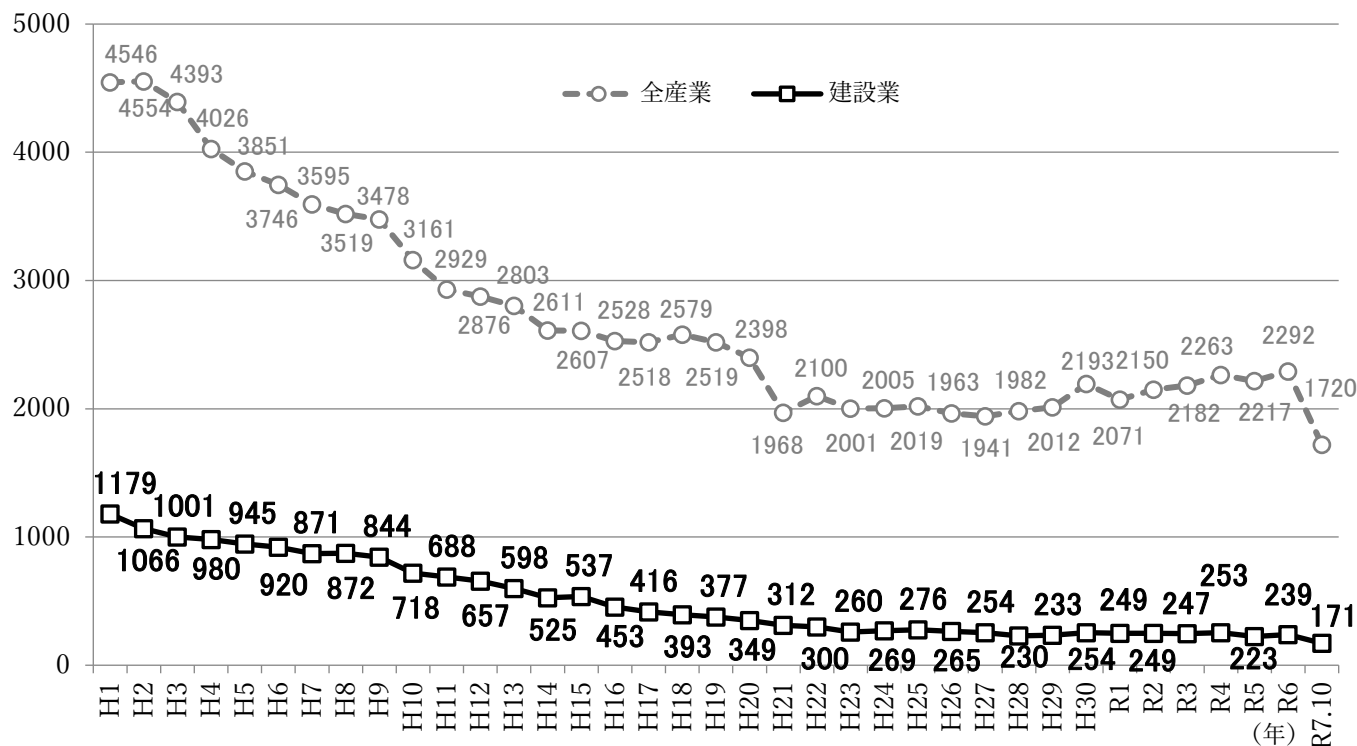
(別 添)

1 岐阜労働局管内における労働災害発生状況

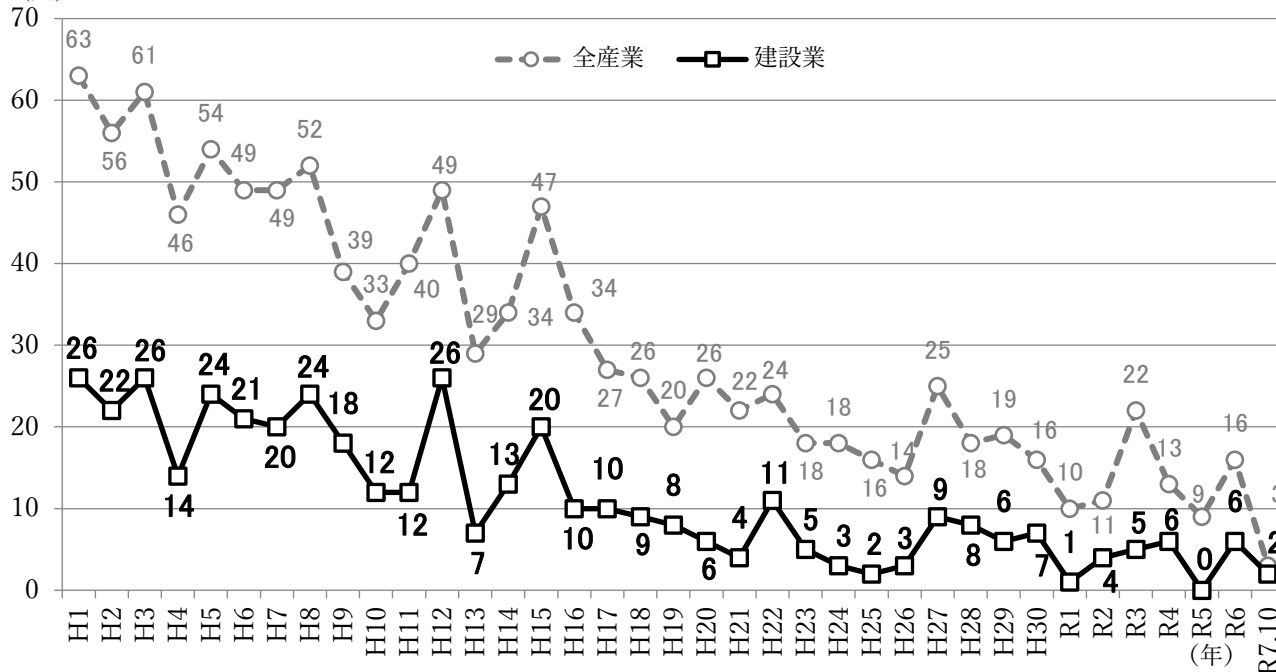
(1) 岐阜県内の死傷者数の推移

岐阜県内における休業4日以上労働災害(死傷者数)は年々減少していましたが、平成29年以降は増加に転じており、令和6年の建設業の死傷者数(上段グラフ)は239人、死亡者数(下段グラフ)は6人となりました。

(人)



(人)

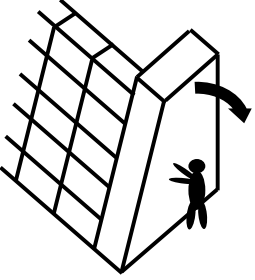
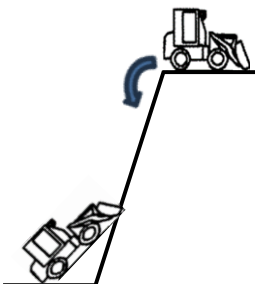


(2) 死亡災害の概要

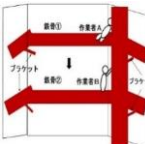
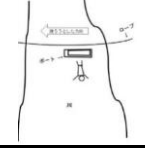
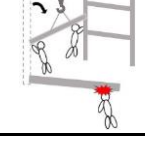
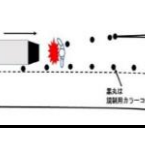
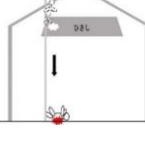
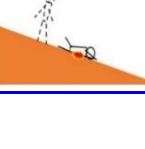
建設業において、令和6年に6人、令和7年9月末現在において2人の尊い命が労働災害により失われています。

本年に発生した建設業の死亡災害は、いずれも土木工事業で発生しています。

令和7年の建設業における死亡災害発生状況

発生月	業種	性別	職種	年齢層	災害発生の概要 (概要の内容は、同種災害防止の見地等から編集を加えています。)	略図 (同種災害防止の見地等から編集を加えています。)	事故の型	起因物
5月	河川土木工事業	男性	土木従事者	50代	河川護岸工事のブロック積み施工中、端部に高さ3mの小口止めを既製品とコンクリート打設により設置し、コンクリート型枠を解体していたところ、小口止めが倒れて下敷きになった。 同種災害を防止するための対策例 ・設計段階で、安全な施工ができるように、小口止めの倒壊防止対策を考慮した施工方法を検討すること。 ・安全な作業方法を定め、作業者に周知・徹底すること。		崩壊・倒壊	建築物・構築物
5月	その他の土木工事業	男性	土木従事者	60代	林道上の土砂及び落石の除去作業中、被災者が運転していたトラクター・ショベルの後輪が脱輪し、約15m下の河川に転落した。 同種災害を防止するための対策例 ・重機作業で路肩に近づく場合は、誘導者を配置すること。 ・作業場所の広さ等に応じて、適切な重機を使用すること。		墜落・転落	整地・運搬・積み込み用機械

令和6年の建設業における死亡災害発生状況

発生月	業種	性別	職種	年齢層	災害発生の概要 (概要の内容は、同種災害防止の見地等から編集を加えています。)	略図 (同種災害防止の見地等から編集を加えています。)	事故の型	起因物
3月	土木建設業	男性	建設作業員	50代	土止め支保工の組み立て中に、作業員Aが、鉄骨①上でレバブロックで移動させていたところ、ブラケットから外れ、鉄骨①とAが落下した。その際、下の鉄骨②上で作業をしていた作業員Bが鉄骨①の下敷きになったもの。(Aは重傷) 同種災害を防止するための対策例 ・土止め支保工の組立て作業手順を定めて作業を行うこと。 ・上下作業を避けること。		飛来、落下	支保工
3月	土木建設業	男性	建設作業員	20代	作業員4人が川の右岸から左岸へボートで渡って作業していたところ、天候が悪化したため右岸に戻ることとなった。ロープを張り、ボートに乗ってロープを伝って渡っていたところ、ボートが傾いて4人とも川に投げ出された。3人はすぐに救出されたが、被災者は約300m下流に流された。 同種災害を防止するための対策例 ・ボートで川を渡る際はライフジャケットを着用すること。 ・ロープを流れに垂直ではなく下流に向かうよう(図の右上から左下方向)に張ること。		交通事故(その他)	その他の乗物
6月	その他の建設業	男性	作業員	50代	工場内の鋼製棚を解体する作業中に、別の作業員がつなぎ材をクレーンで吊って支えながらつなぎ材のボルトを外したところ、間柱が倒れ、付近にいた被災者を直撃した。 同種災害を防止するための対策例 ・解体作業手順を全作業員で確認すること。 ・解体した部材が倒れる等により危険が及ぶ範囲への作業員の立入りを禁止すること。		崩壊、倒壊	その他の装置、設備
10月	その他の土木工事業	男性	作業員	30代	道路の防音壁の草刈作業現場にて、規制の先端部で車両の誘導を行っていた被災者が、本線を走行してきた4トントラックにはねられた。 同種災害を防止するための対策例 ・誘導員を配置する場合は、緊急時に退避可能な場所に配置できるようにし、車線規制や誘導方法などについて検討すること。		交通事故(道路)	トラック
11月	その他の建築工事業	男性	作業員	40代	工場解体工事現場において、建屋の屋根部に設置された波板撤去作業にあたり、建地を登り、建屋に乗り移ろうとひさしのスレートに足をかけたところ、スレートが破損して約4.5メートル下の地面に墜落した。 同種災害を防止するための対策例 ・建屋に登る際ははしご等の昇降器具を使用すること。 ・スレートの上を歩く際は、踏み抜く危険を防止するため、歩み板を設けること。 ・床面、地面からの高さが2メートル以上の場所で作業させる場合は、墜落制止用器具を使用させ、フック等を取り付ける親綱を設けること。		墜落、転落	屋根、梁、もや、け
11月	通信工事業	男性	作業員	50代	午前中の作業を終えて坂道を下る途中で転倒して胸部を打ったため病院を受診したところ、肋骨骨折が認められたため、被災日の翌日から休業していたが、4日後に亡くなった。 同種災害を防止するための対策例 ・坂道等斜面を下る場合は、足元に注意すること。		転倒	通路

2 取材時のお願い

パトロールの取材をされる方は、以下の事項に留意してください。

(1) 工事現場の留意事項

パトロールを実施する事業場は、通常通り作業を行っているため、工事現場に駐車できるスペースに限りがあります。このため、事前登録のない方は参加できず、また、必要に応じて取材社を調整させていただく場合があります。

(2) 取材時の留意事項

取材は保安上の理由から工事現場内の集中管理室で行われる「②パトロール実施・講評Ⅰ」まで(13時30分から14時40分)となります。当日は労働局職員以外(発注者及び施工業者等)への取材はご遠慮ください。

(3) 取材に必要な装備

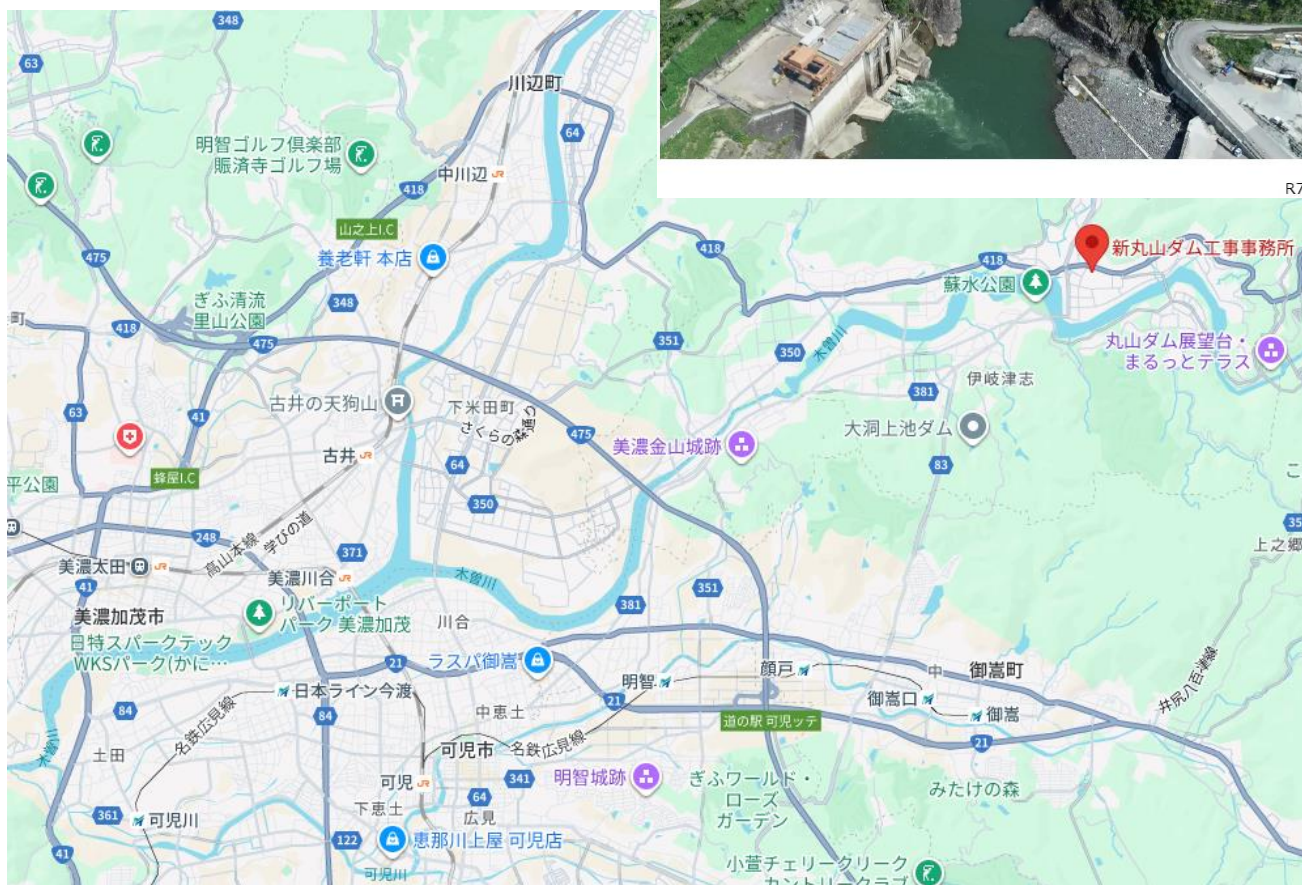
各自でヘルメットをご用意ください。(ヘルメットをお忘れの場合は、現場の入場は出来ません。)
動きやすい服装・靴、貴社腕章を着用いただきますようお願いいたします。

(4) 当日の受付

受付は大林・大本・市川特定建設工事共同企業体、新丸山ダム JV 工事事務所(加茂郡八百津町八百津 3340-1)(電話番号 0574-48-8516)にて行いますので、13時15分頃から13時25分までの間に受付が済むようにお越しください。



R7年9月撮影



＝受付＝ 新丸山ダム JV 工事事務所 Ⅸ：0574-48-8516